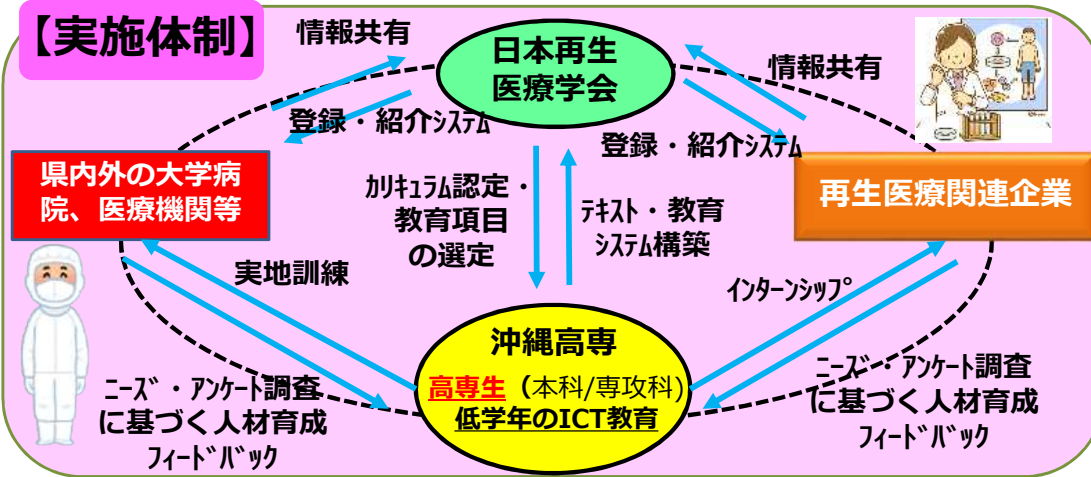




【具体的な取組内容】

世界最先端の健康立国を目指す国の成長戦略である**先端医療・バイオ関連・福祉等**において、これまでの本校のバイオ関連・医用情報活用技術を有する教育カリキュラムと実績をさらに**ブラッシュアップ（低学年でのICT/IoTを基盤に、日本再生医療学会との協働による臨床培養士育成プログラムを開設し、既存カリキュラムとの融合・複合教育へ）**して、**沖縄県次世代リーディング産業にも合致する人材輩出**を目指す。

【実施体制】



【成果指標】

- 日本再生医療学会と協働し、学会推奨のテキスト内容および必須教育項目の設定・策定（H29）
- 模擬実習の内容の妥当性等について、日本再生医療学会の評価を受け、承認をもらう（H30）
- 実地訓練における協力機関・企業等の確保
3社（H29 5月現在）→10社（H30）

【実施項目と工程表】

	H29上半期	H29下半期	H30上半期	H30下半期
低学年におけるICT/IoTプログラム策定(教材・カリキュラム)	→			
臨床培養士のプログラム策定(必須教育項目・内容の選定)	→		● テキスト完成	● アンケート結果・調査による修正
実習内容策定(模擬実習)		→		● サマーセミナー
再生医療人材育成セミナー		→		→
実地訓練・インターンシップのシステム構築(学会紹介)			→	

【第4期中期目標期間への展開】

○学科改組に基づく、低学年でのICT/IoT融合・複合教育と、高学年での多様な専門教育により、臨床培養士資格取得のみならず、多様なキャリアパスへの発展が期待できる。 => 例：メディア系+生体情報＝医用画像技術者、機械系+バイオ薬学＝医用デバイス開発技術者、情報系+臨床細胞工学＝細胞解析技術者など。

○本校成功の後、再生医療人材育成(高専機構)ネットワークを構築し、バイオ科を持ち希望する他校へもコースを拡散する。